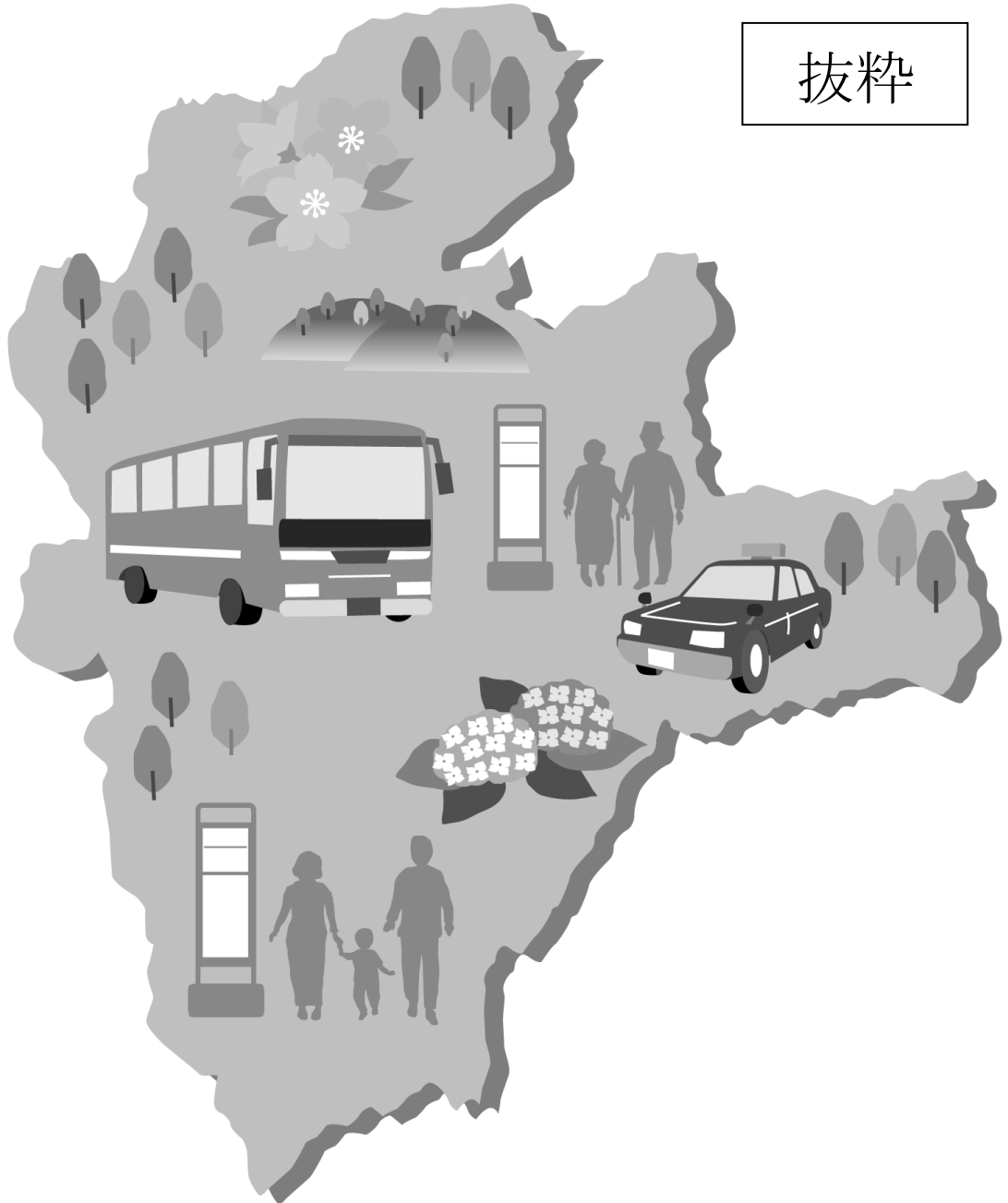


別紙 2

平成 28 年度 長南町地域公共交通網形成計画

抜粋



平成 29 年 3 月

長 南 町

(6) 公共交通の利用促進

【現状における課題】

- ・町民の外出時の交通手段は、自動車利用に依存し、高齢者においても、買い物や通院目的での移動でも同様な傾向にある。しかし、その一方、高齢者は、現在は、まだ公共交通を利用してないが将来的に利用したいと考えている方もおり、公共交通利用に係わる環境整備が必要な状況にあります。

【目標】

- ・町の公共交通手段の利用に係わる情報を発信し、公共交通の認知度の向上及び自発的な利用意識の醸成を目指します。

【施策】

- ・バス路線の運行経路や乗り継ぎ場所、公共施設、観光施設等を掲載した地域公共交通マップ作成の検討を行います。作成した地域公共交通マップは、今後、転入された方への配布や、公共施設及び観光施設での配置により、公共交通のPR活動に使用します。
(次頁の図 参照)
- ・町の観光施設と連携し、観光施設や町のホームページにおいて、高速バス、路線バス、巡回バス、乗合タクシーの運行情報を一元化して発信します。

8-5. 実施主体

目標を達成するために行う施策の実施主体と関連主体を以下に示します。

表 8-2 施策の目標及び実施施策に対する実施主体及び関連主体

目標		実施施策	実施主体◎ 関連主体○			
			長南町	交通事業者	地域	茂原市
・高速バス利用時の利便性向上		・長南駐車場バス停での路線バスと巡回バスの運行時刻の調整の検討	◎	○		
路線バス	・利便性向上	・長南駐車場バス停での乗り継ぎ時の待ち時間短縮のための運行時刻調整の検討	○	◎		
	・運行サービスの適正化	・茂原駅や三川、笠森霊園方面の系統で、経路位置等の見直しの検討	○	◎		
巡回バス	・利便性向上	・町内の観光施設等への来訪可能な運行経路の可能性の検討	◎	○		○
	・運行サービスの適正化	・本数及び運行経路等の見直し	◎	○		○
・乗合タクシー利用時の利便性向上		・平日午後の運行時間帯の延長の可能性の検討	◎	○		
・交通結節拠点での公共交通手段相互の連絡強化とまちの活性化に寄与		・高速バス、路線バス、巡回バスの乗り継ぎ可能な交通結節拠点の整備の検討	◎	○	○	
・公共交通の認知度向上及び自発的な利用意識の醸成		・地域総合交通マップの作成の検討	◎	○		
		・観光施設との連携の検討	◎	○	○	
		・免許返納に対する優遇措置の検討	◎	○		
		・啓発活動の実施の検討	◎	◎	○	

(2) 目標値

①利用者数

数値指標	指標の定義	現況値 (平成27年)	目標値 (平成33年)
高速バス	長南駐車場バス停での年間利用者数	14,583人	16,000人 (10%増)
路線バス	牛久系統と茂原長南系統の年間利用者数	85,968人	現況値
巡回バス	年間利用者数※ ¹	2,406人	2,600人 (10%増)
乗合タクシー	年間利用者数※ ²	8,329人	9,200人 (10%増)

※1 小学生通学のスクールバスが導入されることを考慮し、児童・生徒を除いた利用者数とした

※2 利用の対象は、現状と同様に、65歳以上の高齢者及び身体障害者手帳（1級～3級）の交付を受けている方とした。

②満足度

評価指標	指標の定義	現況値 (平成27・28年)	目標値 (平成33年)
在住者の公共交通に対する満足度	町民アンケートで、利便性に「満足」と回答した割合	4%	20%
高齢者の巡回バスに対する満足度	高齢者アンケートで、利用している人のうち、「満足」と回答した人の割合	41%	60%
高齢者の乗合タクシーに対する満足度	高齢者アンケートで、利用している人のうち、「満足」と回答した人の割合	66%	80%

③公共交通手段の利用状況

評価指標	指標の定義	現況値 (平成28年)	目標値 (平成33年)
観光時の公共交通手段	笠森霊園来訪者へのアンケートで、高速バスの利用と回答した人の割合	7%	20%
通院時の公共交通手段	高齢者アンケートで、通院時の交通手段を「路線バス」、「巡回バス」、「タクシー」、「乗合タクシー」と回答した人の割合	9%	20%